

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年09月16日

計画の名称	八幡市における地域住宅等整備計画												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	八幡市												
計画の目標	建物住戸内の高齢者対応に取り組むことで、『幅広い年齢・世帯に対する安全・快適な居住環境の実現』を目指す。 地域住民の生活環境の保全を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	268	A	263	B	0	C	5	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	1.86	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	住宅セーフティネットの確保(高齢者等が居住する住宅のバリアフリー化率)			
	住宅セーフティネットの確保(高齢者等が居住する住宅のバリアフリー化率) (既存公営住宅等の住戸内バリアフリー化率) = バリアフリー化改善実施済み戸数 / (維持管理対象戸数)	1%	%	43%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	八幡市	直接	八幡市	-	-	公営住宅整備事業等(公営住宅等ストック総合改善事業)	福祉対応型改善(13戸)、長寿命化型改善(104戸)	八幡市					9		策定済	
	A15-002	住宅	一般	八幡市	直接	八幡市	-	-	公営住宅整備事業等(公営住宅等ストック総合改善事業)	福祉対応型改善(13戸)、長寿命化型改善(104戸)、居住性向上型改善(16戸)	八幡市					18		策定済	
	A15-003	住宅	一般	八幡市	直接	八幡市	-	-	住宅地区改良事業等(改良住宅ストック総合改善事業)	福祉対応型改善、居住性向上型改善(183戸)、長寿命化型改善(234戸)	八幡市					227		策定済	
	A15-004	住宅	一般	八幡市	直接	八幡市	-	-	公営住宅整備事業等(公営住宅等ストック総合改善事業)	長寿命化計画策定業務	八幡市					4		策定済	
	A15-005	住宅	一般	八幡市	直接	八幡市	-	-	住宅地区改良事業等(空家再生等推進事業)	空家実態把握等(八幡市全域)	八幡市					5		-	
												小計					263		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						263		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	八幡市	直接	八幡市	-	-	市営住宅等ストック総合活用計画策定事業	計画策定（見直し）	八幡市						5		策定済
		地域の需要バランスを踏まえたストック判定を行うことにより、長寿命化計画の目的である、安心・安全の確保とライフサイクルコストの縮減の効果を促進する。																	
											小計						5		
											合計						5		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 八幡市にて実施	事後評価の実施時期 令和3年8月
	公表の方法 八幡市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	既存公営住宅等のバリアフリー化に取り組むことで、幅広い年齢・世帯に対する安全・快適な居住環境の実現を図り、地域住民の生活環境が一定向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
事後評価の結果を踏まえ、次期地域住宅計画においても、高齢化を支える住環境の実現を目指し、引き続き高齢者等が安心して生活できるようバリアフリー化を図る。また既存市営住宅の改修により、現在の生活水準に合わせた市営住宅ストックを形成すると共に、対応年数を超過した市営住宅の除却・集約を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	住宅セーフティネットの確保（高齢者等が居住する住宅のバリアフリー化率）	
	最終目標値	43%
	最終実績値	12%
		地元住民の要望やコロナ渦により事業の進捗が遅れたため